～ 市長が語る ～

「わがまちの今・これから」

平成３０年５月１２日（土）午後２時～	長浦おかのうえ図書館
平成３０年５月１３日（日）午後２時～	根形公民館
平成３０年５月１６日（水）午後６時３０分～	市民会館
平成３０年５月２０日（日）午前１０時～	平川公民館

第７回袖ケ浦市観光協会観光写真コンクール最優秀賞
「ジャンプして１枚」（東京ドイツ村）

～ 市長が語る ～「わがまちの今・これから」　構成

第１部　わがまちの「今」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

Ⅰ　人口は増加しています・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

①住むまちとして選ばれている袖ケ浦・・・・・・・・・・・　５

②人口移動の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

③年齢層別人口移動の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

Ⅱ　市の財政状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

①市の歳入歳出の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８

②財政の健全化判断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９

Ⅲ　地理的特性を活かしたまちづくりの効果・・・・・・・・・・・１０

Ⅳ　市の魅力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

①市の発展に向けたまちづくりの展開・・・・・・・・・・・　１２

②交通利便性の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

③充実した子育て環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６

④「学び つながり 支えあう」そでがうらの教育・・・・・・２１

⑤健康寿命を伸ばして健やかに（高齢者に安心を）　・・・・　２５

⑥安全・安心な生活環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２８

Ⅴ　市の発展を支える産業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０

①全国有数の工業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０

②豊かな大地が育む農業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２

③観光地としての魅力上昇・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３５

④わがまちの味覚・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６

⑤市内外から好評の収穫体験・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７

⑥人気の公園のひみつは「花」と「絶景」　・・・・・・・・・　３８

⑦わがまちの多彩なイベント・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９

市ＰＲビデオのご紹介

第２部　わがまちの「これから」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
Ⅰ　平成３０年度の主な取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
①市民参加で進める住みやすいまちづくり・・・・・・・・・　４４
②災害、事故、犯罪をなくす安全性の高いまちづくり・・・　４６
③すこやかに暮らせるふれあいと支えあいのまちづくり・・　４７
④豊かな人間性を育む文化の薫るまちづくり・・・・・・・　４８
⑤環境負荷を減らし自然と共生するまちづくり・・・・・・　４９
⑥産業が調和した賑わいと活力のあるまちづくり・・・・・　５０
⑦快適で調和のとれたまちづくり・・・・・・・・・・・・・　５１
⑧市民ニーズに的確に対応する信頼される行財政運営・・・　５３
Ⅱ　みんなでつくるわがまちの将来像・・・・・・・・・・・・・・・・５４
①市民に愛される「わがまち」・・・・・・・・・・・・・・・　５４
②わがまちの将来人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５６
③これからのまちづくり計画策定に向けて・・・・・・・・・　５７
④様々な手法で意見を伺っています・・・・・・・・・・・・　５８
⑤みんなで考え、みんなで築く将来の「わがまち」・・・・　６０

第１部　わがまちの「今」

市勢の状況と
市の発展に向けて
これまで取り組んできた
まちづくりを紹介します

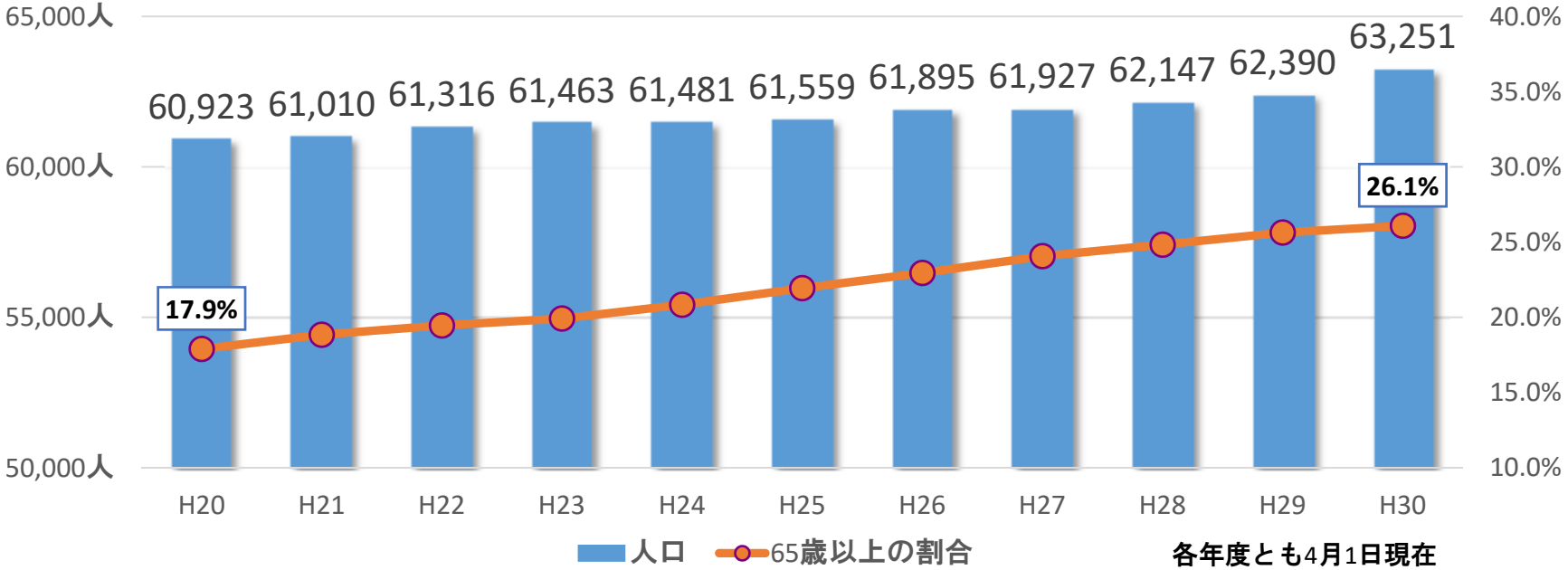
第７回袖ケ浦市観光協会観光写真コンクール
優秀賞「桜の花に誘われて」（袖ケ浦公園）

Ⅰ　人口は増加しています
①住むまちとして選ばれている袖ケ浦

総人口：６３，２５１人

（平成３０年４月１日現在　住民基本台帳）

１０年で約２，３００人増加



全国的な人口減少の中で、市の人口は現在も増加

転入者数が転出者数を大きく上回る社会増が顕著

一方で高齢化率は上昇を続けている

②人口移動の状況

転入者の内訳

計２，４６１人

順位	転入元自治体名	転入者数	割合
１位	市原市	４５２人	18.4%
２位	木更津市	４３９人	17.8%
３位	君津市	１４９人	6.1%
４位	千葉市中央区	５４人	2.2%
５位	富津市	５３人	2.2%
６位	船橋市	４３人	1.7%
７位	東京都大田区	３２人	1.3%
８位	千葉市緑区	３０人	1.2%
９位	茂原市	２５人	1.0%
９位	東京都江戸川区	２５人	1.0%

転出者の内訳

計１，９１８人

順位	転出先自治体名	転出者数	割合
１位	木更津市	３２３人	16.8%
２位	市原市	２９０人	15.1%
３位	千葉市中央区	１０７人	5.6%
４位	君津市	８８人	4.6%
５位	船橋市	５２人	2.7%
６位	富津市	３０人	1.6%
７位	市川市	２９人	1.5%
８位	千葉市若葉区	２８人	1.5%
９位	茂原市	２２人	1.1%
９位	東京都江戸川区	２２人	1.1%

住民基本台帳人口移動報告（平成２９年）より

③年齢層別人口移動の状況

転入者の年齢層別内訳

計２，４６１人

転入者年齢層	転入者数	割合
０～　９歳	３２０人	１３．０％
１０～１９歳	１３０人	５．３％
２０～２９歳	７３８人	３０．０％
３０～３９歳	６２１人	２５．２％
４０～４９歳	２７４人	１１．１％
５０～５９歳	１５８人	６．４％
６０歳以上	２２０人	８．９％

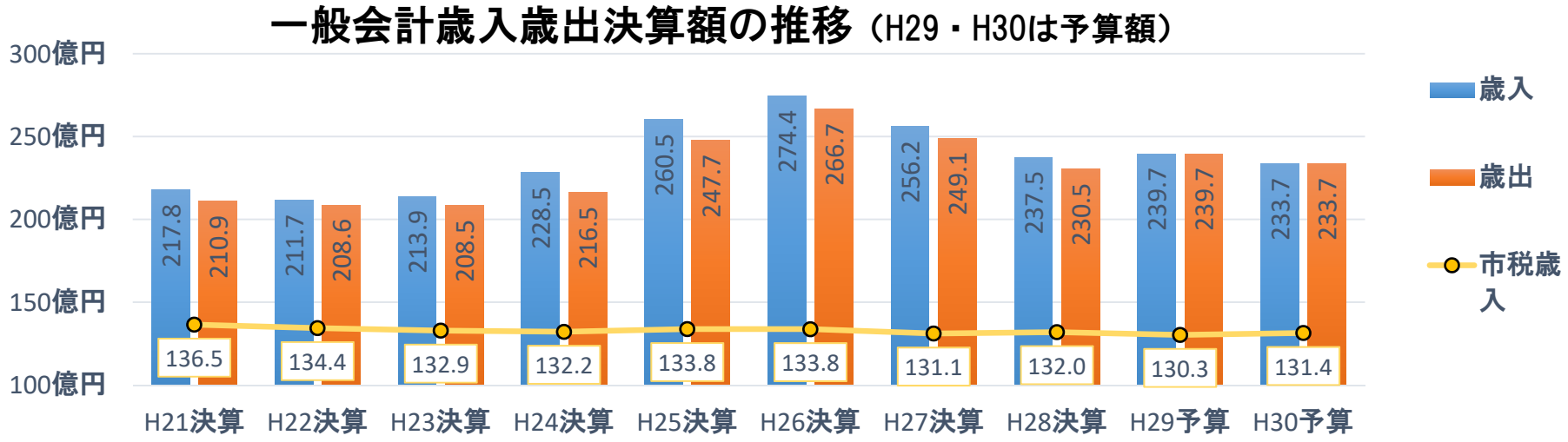
転出者の年齢層別内訳

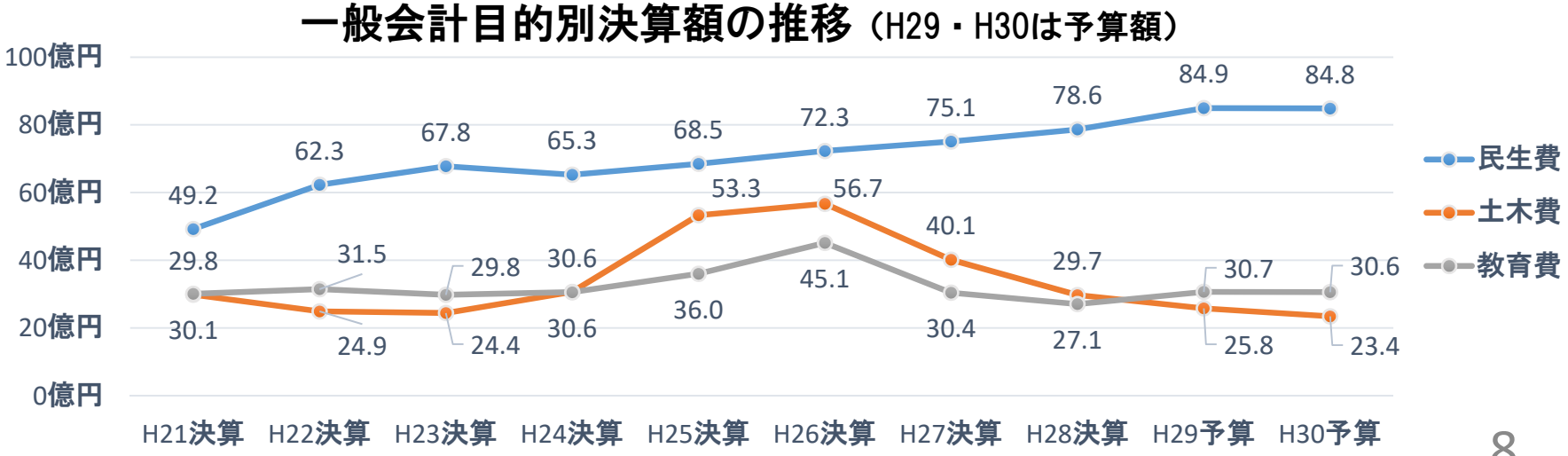
計１，９１８人

転出者年齢層	転出者数	割合
０～　９歳	１８２人	９．５％
１０～１９歳	１３０人	６．８％
２０～２９歳	６９７人	３６．３％
３０～３９歳	３９５人	２０．６％
４０～４９歳	２０９人	１０．９％
５０～５９歳	１１４人	５．９％
６０歳以上	１９１人	１０．０％

住民基本台帳人口移動報告（平成２９年）より

Ⅱ 市の財政状況
①市の歳入歳出の状況

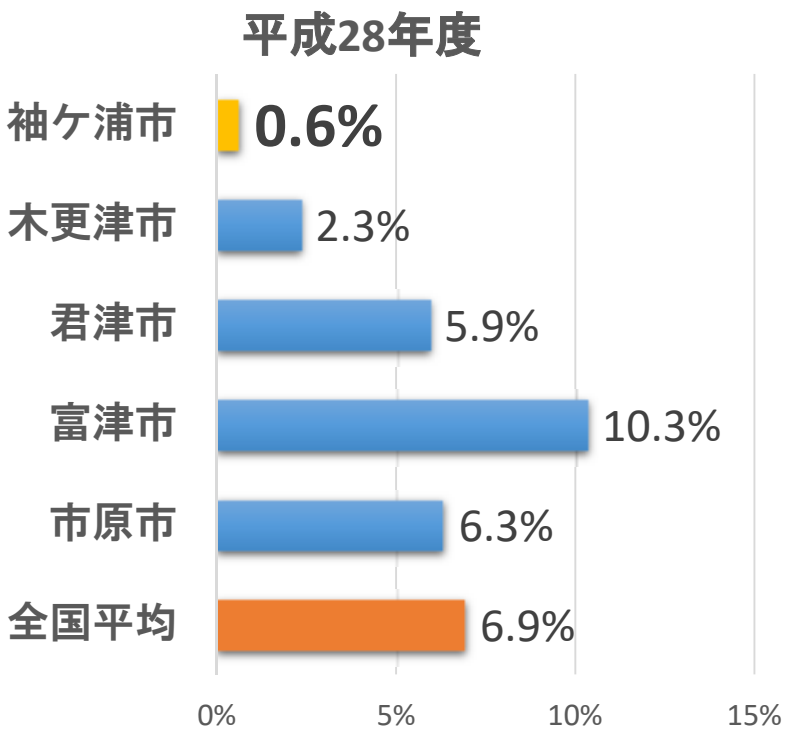


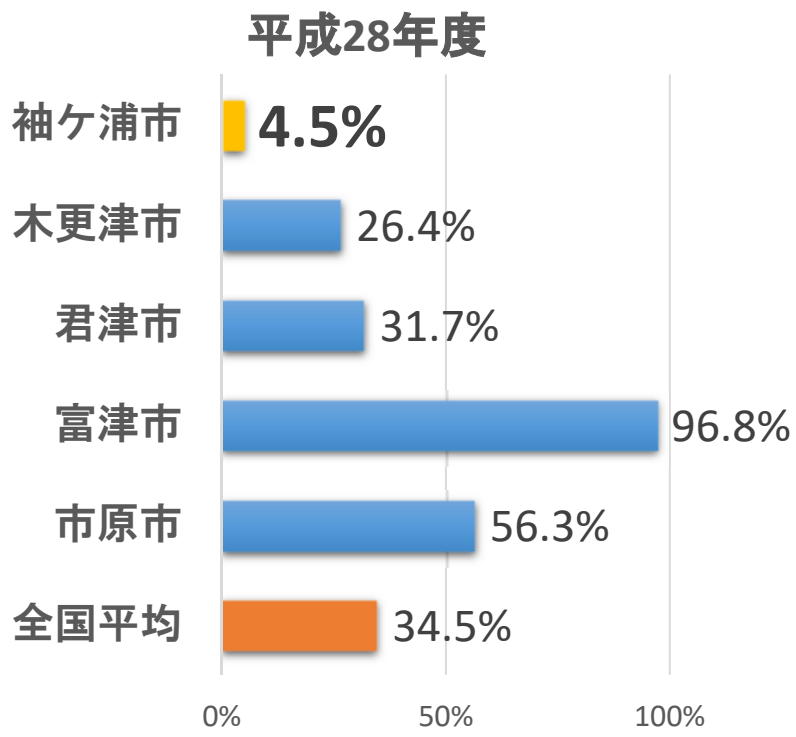


②財政の健全化判断

実質公債費比率
…借入金の返済額の大きさを、自治体の財政規模に対する割合で表したもの
⇒低い方が健全

将来負担比率
…現在抱えている借入金など負債の大きさを、自治体の財政規模に対する割合で表したもの
⇒低い方が健全

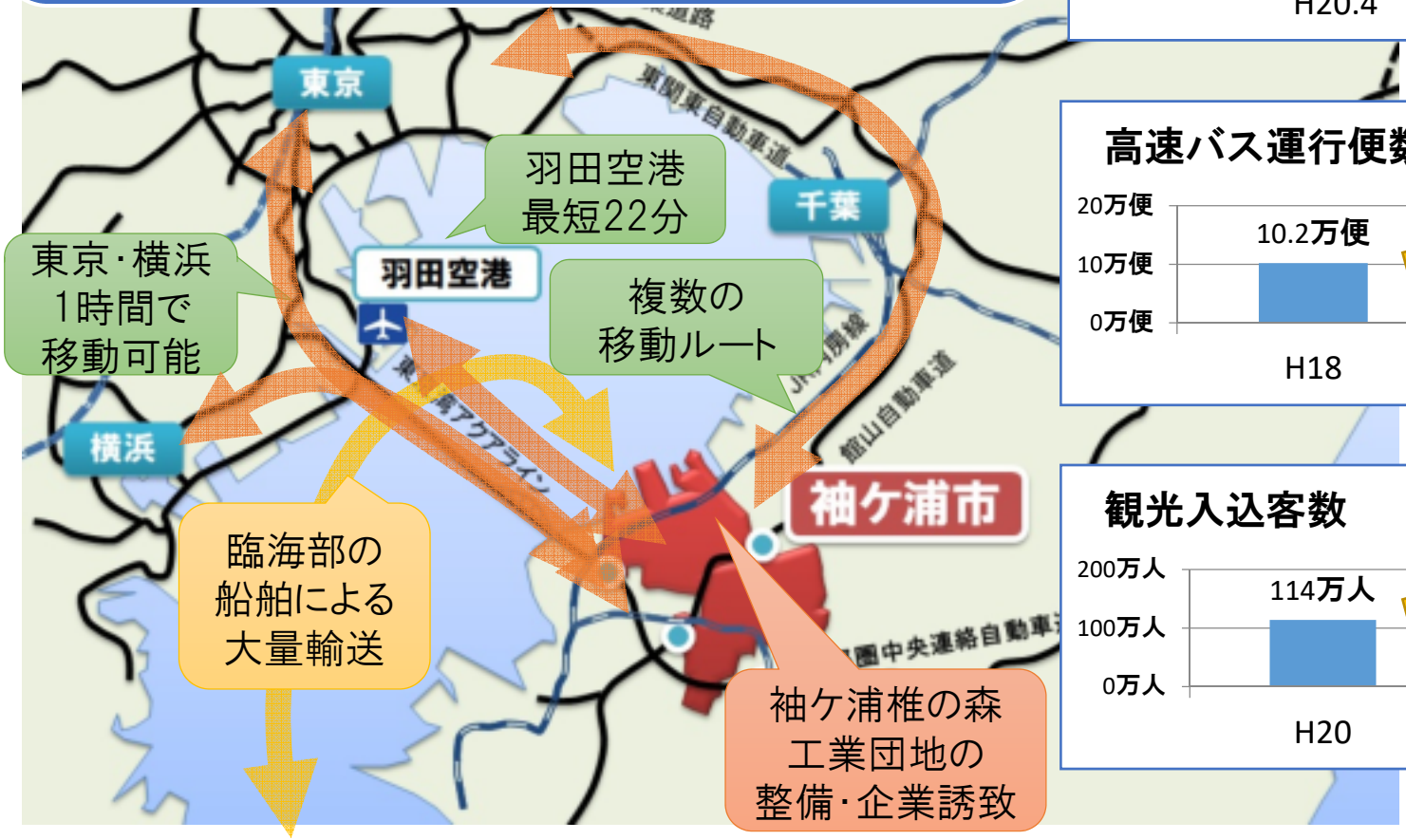


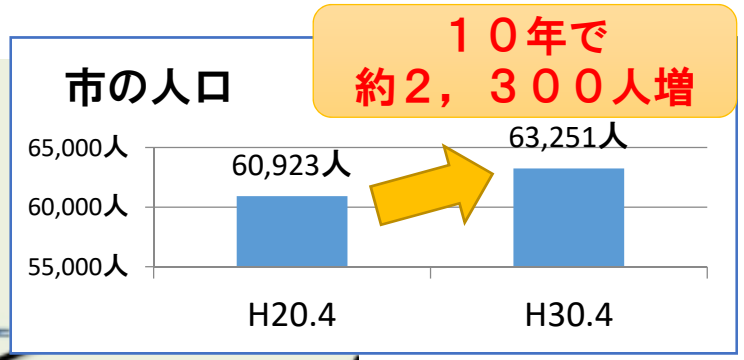


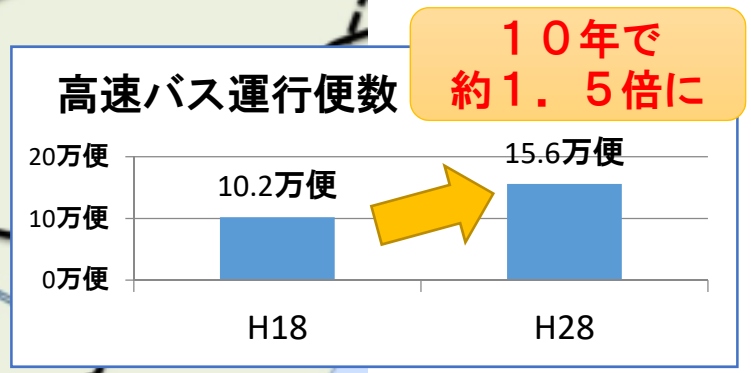
袖ケ浦市の財政状況は健全ですが、引き続き効率的な市政経営に努めます

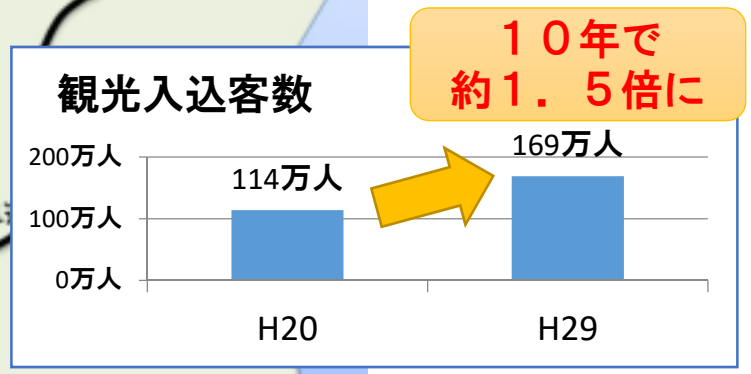
Ⅲ 地理的特性を活かしたまちづくりの効果

東京湾に面した物流効果に加え、
アクアライン等の高速道路整備を機に、
人とモノの流れがスムーズになりました
さらに、交通利便性を活かしたまちづくりを
進め、様々なプラス効果を生んでいます









Ⅳ 市の魅力

わがまちの魅力マップ

京葉工業地域の
一翼を担う企業群

新たな企業立地と
雇用が期待される
袖ケ浦椎の森工業団地

人気急上昇
袖ケ浦海浜公園

体験農園も多く
様々な野菜等が
収穫される畑作地帯

発展を続ける
袖ケ浦駅海側地区

市最大の観光施設
東京ドイツ村

アクアライン効果を
最大限に活かす
袖ケ浦バスターミナル

県内でも有数の
酪農地帯

豊富な水と
耕地整理された
広大な水田地帯

①市の発展に向けたまちづくりの展開

都市基盤の整備

ＪＲ長浦駅

バリアフリー化、
自由通路の整備
（平成２７年３月）

ＪＲ長浦駅

ＪＲ袖ケ浦駅

橋上化・
自由通路整備
（平成２８年３月）

ＪＲ袖ケ浦駅

袖ケ浦アンダーパス
（都計道高須箕和田線）

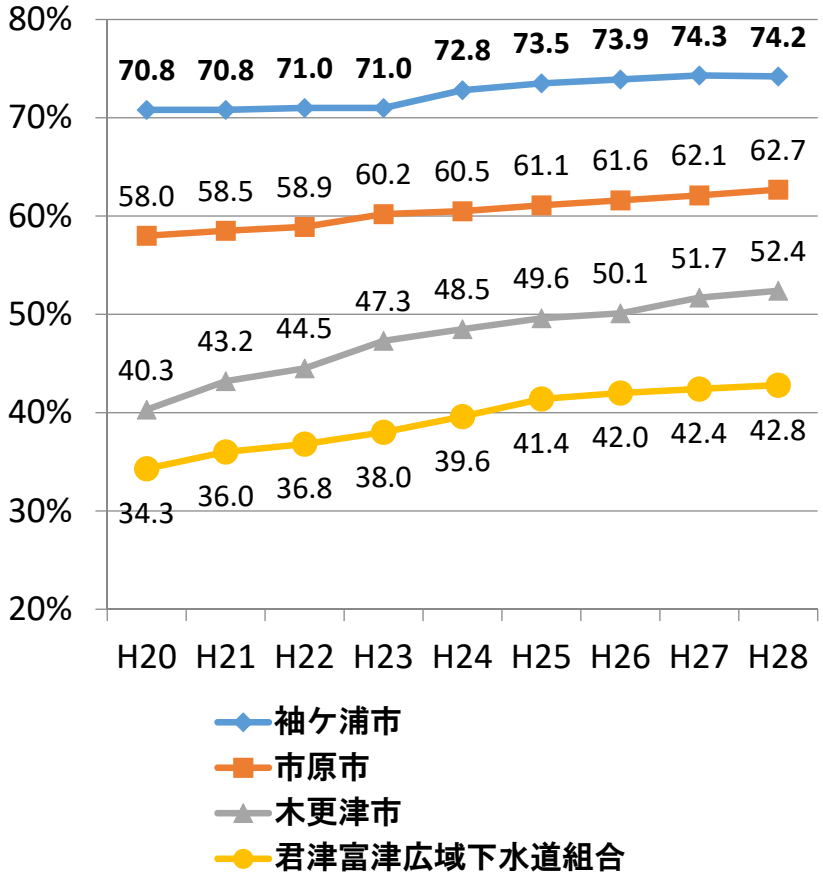
袖ケ浦駅海側地区から、市全域
への交通利便性が向上
（平成２９年７月開通）

袖ケ浦アンダーパス

下水道・農業集落排水の整備

公共下水道・農業集落排水区域図

公共下水道・農業集落排水普及率



②交通利便性の向上

アクアライン高速バスの拡充

東京湾アクアラインの開通と同時に「袖ケ浦バスターミナル」を整備し、さらに、バスバースの増設やバス会社に対して路線拡大と増便に向けた働きかけを行った結果、市の主要な交通手段となっています

高速バスを利用した各地への最短時間

※所要時間は袖ケ浦ＢＴとの時間（平成３０年５月現在）

東京ガウライナー

昨年１２月１５日運行開始

路線：袖ケ浦駅北口～
　袖ケ浦バスターミナル～
　東京駅（鍛冶橋駐車場）

所要時間：
　袖ケ浦ＢＴより４３分

運行本数：
　平日１３便・休日１０便

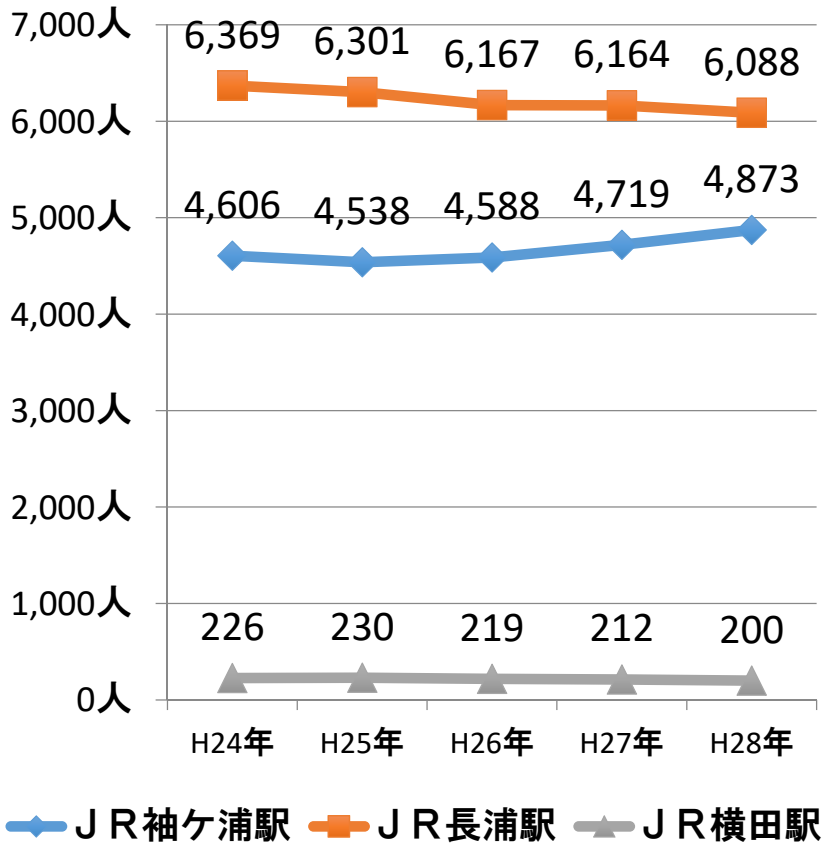
※銀座や丸の内方面への
　利用に便利です。

東京ガウライナー開業式

主要交通網の利用状況

ＪＲ利用者数の推移
（１日あたり乗降客数）

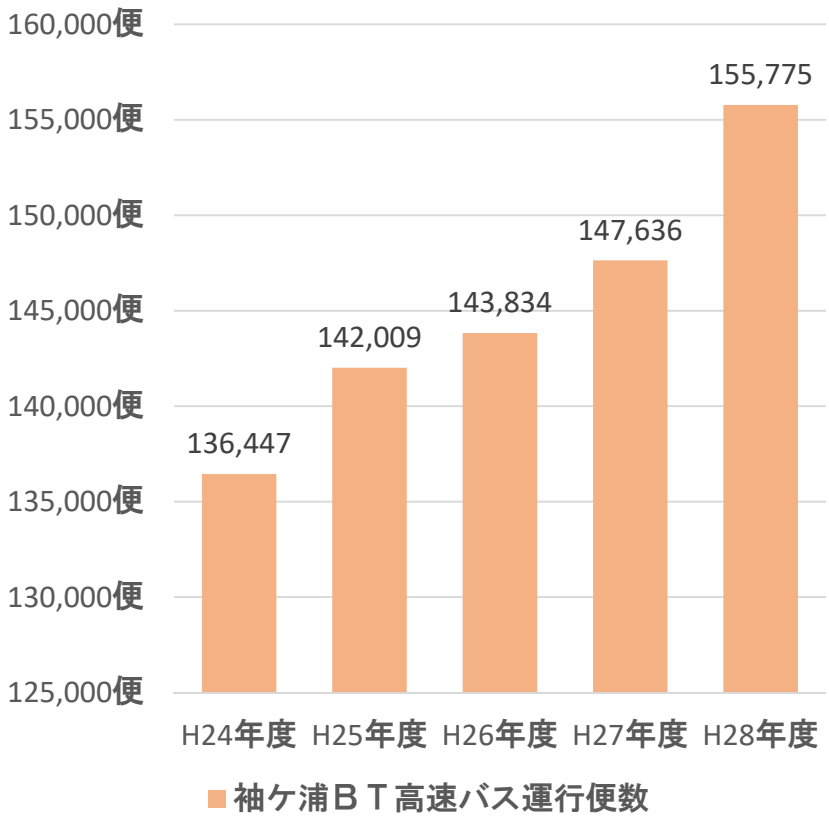
袖ケ浦駅海側地区の開発が進み
ＪＲ袖ケ浦駅の利用者が増加



※ＪＲ東横田駅は集計データなし

高速バス運行便数の推移
（年度合計）

５年間で約２万便の増便
毎年１１０万人以上が利用



③充実した子育て環境

子育て世代総合サポートセンター

平成２９年４月開設（市役所２階）
妊娠から出産・育児まで、子育てに関する悩みや、手続き・申請の相談などを１つの窓口で総合サポート
相談件数：７６３件（Ｈ２９実績）

子育て世代総合サポートセンター

妊娠期：はじめての出産で心配…
妊娠中や出産後：手伝ってくれる人がいない…
産後期：あかちゃんが泣いてばかりで心配…
子育て全般期：子どもの発達が心配…
など

子育て世代総合サポートセンターに電話ください

TEL：62－3220

産前産後ヘルパー派遣事業【平成２９年度開始】

対象：妊娠期又は産後期に、家族等から十分な援助が受けられない母等

内容：家事及び育児に関するヘルパーを派遣（有料）

※母等が見守る中で実施

利用状況：１６名（Ｈ２９実績）

そでがうらこども館（子育て支援センター）

対象：未就学児とその保護者の方

内容：専門の保育士が、育児に関するアドバイスや育児情報を提供（無料）

利用状況：約１４，０００人/年

そでがうらこども館の様子

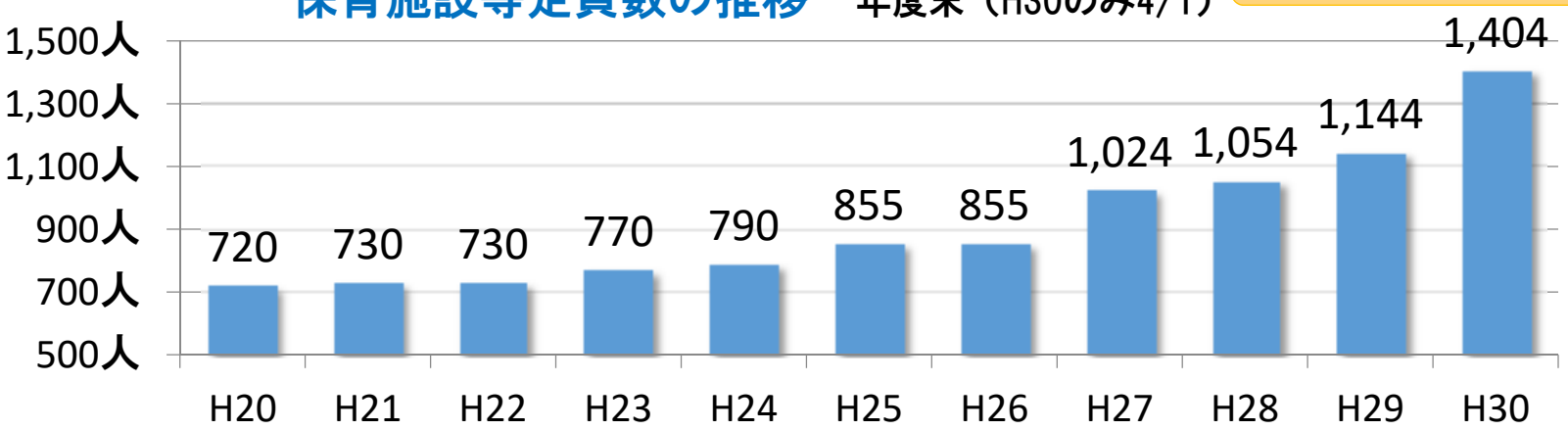
※私立保育園でも子育て支援センターを開設

保育施設の充実

保育施設等の整備状況

平成２１年度：私立長浦保育園（定員増：１２０人→１３０人）
平成２３年度：私立白ゆり保育園（新設：定員４０人→現在１５０人）
平成２５年度：家庭的保育みらいっ子ルーム（新設：定員５人）
平成２７年度：袖ケ浦市立根形保育所（定員増：９０人→１２０人）
：私立大空保育園（新設：定員１２０人）
：小規模保育みどりの風保育園（新設：定員１９人）
平成２９年度：私立みどりの丘保育園（新設：定員９０人）
平成３０年度：認定こども園まりん（新設：定員〔教育〕９０人＋〔保育〕１５０人）
：事業所内保育キッズガーデンひまわり（新設：地域枠２０人）

１０年で約２倍



※Ｈ３０より認定こども園〔教育〕を含む

多様な保育サービスを展開

子育ての負担軽減と
安心できる保育サービスを展開

種類	保育サービスの概要	対応保育所等
延長保育	通常の保育時間より 時間を延長	ほとんどの保育所 保育園で対応可能
一時預かり 事業	週１～３日程度 一時的に保育が必要な場合	根形保育所、私立保育園、 認定こども園まりん
休日保育 事業	日曜日や祝祭日に、保育が困難な場合 （保育園入園児以外児童も可）	私立長浦保育園
病後児 保育事業	病気などの回復期にある児童 やむを得ない理由で家庭保育が困難な 場合（保育園入園児以外児童も可）	私立長浦保育園
病児保育 事業	病気の回復期に至っていない児童 やむを得ない理由で家庭保育が困難な 場合（保育園入園児以外児童も可）	私立大空保育園、 認定こども園まりん

放課後児童クラブ

放課後児童クラブとは：
　保護者が仕事等で昼間家庭にいない小学校の
　子どもたち（放課後児童）の、健全な育成を
　図るために設置する「放課後の居場所」です
活動内容：
　専任の指導員のもと、遊んだり宿題をするなど、
　安全で楽しい時間を過ごします
クラブ数及び利用者数：
　１４クラブ（小学校区すべて）、約７３０人

安全・安心な放課後児童クラブ施設整備
　平成２９年度には、中川小学校の
　余裕教室を利用したクラブ施設
　整備を実施

中川小学校放課後児童クラブ

④「学び つながり 支えあう」
そでがうらの教育

安全安心な教育環境の整備

建替え後の昭和小学校体育館

校舎及び体育館の耐震化【完了】

- 市内小中学校校舎（２５棟）
  →平成２４年度までに完了
- 市内小中学校体育館（１３棟）
  →平成２７年度までに完了

老朽化した給排水設備の改修に合わせ、トイレの洋式化及び床の乾式化を順次実施中

トイレの洋式化

トイレ床面の乾式化

高い教育効果を生み出す
市独自の教員等を配置

区分	目的	対象及び人員	実施日数等
基礎学力向上支援教員	個に応じたきめ細かな指導	小学校：７名 中学校：５名	各小中学校 ：年２００日
特別支援教員	発達に応じた特別な指導・支援	小学校：各２名 （計１４名） 中学校：５名	各小中学校 ：年２００日
外国語指導助手（ALT）	外国語活動及び外国語授業の支援	８名	公立幼稚園、全小中学校にて活動・授業
読書指導員	学校図書館の機能向上、読書教育推進	小学校：８名 中学校：５名	各小中学校 ：年１８０日
スクールカウンセラー	児童・保護者・教職員の相談・助言	小学校：７名 中学校：県雇用者に、市独自で２時間延長	各小学校：年３５日 各中学校：年３１日
心の相談員	悩みを抱える生徒・保護者の支援	中学校	各中学校 ：年１１０日

特色ある教育事業等

自然体験活動

①小学５年生の児童

２泊３日の非日常体験活動
仲間を思いやる心を育成

小学校自然体験活動

②中学２年生の生徒

２泊３日で県外登山等の
自然体験活動
困難に打ち克つ心を育成

中学校自然体験活動

わんぱくクエスト

小学５年生～中学生で編成されたグループで行動

夏休みに５泊６日の徒歩・野外泊を行い、自然や地域に親しみながら、仲間と困難を克服

これまで
２２回開催

わんぱくクエスト

アレルギー対応、地元食材活用の給食を提供

平成２６年に新しい給食センターを開設
アレルギー食調理室を設け、安全性を最優先
給食米は袖ケ浦産コシヒカリ１００％を使用
野菜等も袖ケ浦産を多く使用し地産地消を推進
新設の食育ルーム活用など、食に関する指導を充実

新給食センターでの調理

歴史・芸術

国史跡に指定された山野（さんや）貝塚

- 飯富地区の山野貝塚が、平成２９年１０月に、市で初の国史跡に指定
- 縄文時代後期～晩期（約４０００年～２３００年前）の貝塚で、非常に保存状態の良い遺跡
- 東京湾東岸は国内有数の貝塚密集地域で、房総半島に現存する大型貝塚で最も南に位置
- 出土品は、郷土博物館で展示中

発掘調査の様子

山野貝塚の
出土品

⑤健康寿命を伸ばして健やかに（高齢者に安心を）

ガウラ健康マイレージ

正しい生活習慣と運動習慣の定着を目指す取組み

☆平成２９年度参加者数：２，０５０人

ステップ１：健康目標に取り組みましょう

ステップ２：健康目標を３つ以上達成しましょう

袖ケ浦いきいき百歳体操

- 平成２６年度より実施
- おもりの入ったバンドを手首や足首に装着し、なじみの歌に合わせて動かす筋力運動
- 週１回１時間の運動で、筋力の維持向上に効果

袖ケ浦いきいき百歳体操の様子

☆平成２９年度末実績：実施団体５３団体　参加者約１，０００名

健康づくり支援センター（ガウランド）

- 平成１６年１１月オープン（現在は指定管理者による運営）
- 市民の健康維持・増進をハード・ソフト両面で支援し総合的な健康づくり活動を展開
- 毎年２０万人以上が利用

ながうら・ひらかわ健康福祉支援室

- 保健・福祉全般に関わる相談体制の拠点
- 専門職員による相談、保健・福祉サービスとの連携
- 地域の高齢者が抱える様々な問題などを発見・整理し、医療機関、介護サービス事業者、地域などと連携する地域包括支援センターのサブセンター機能を併設

→ながうら健康福祉支援室（Ｈ２５～）
〔長浦おかのうえ図書館１階〕

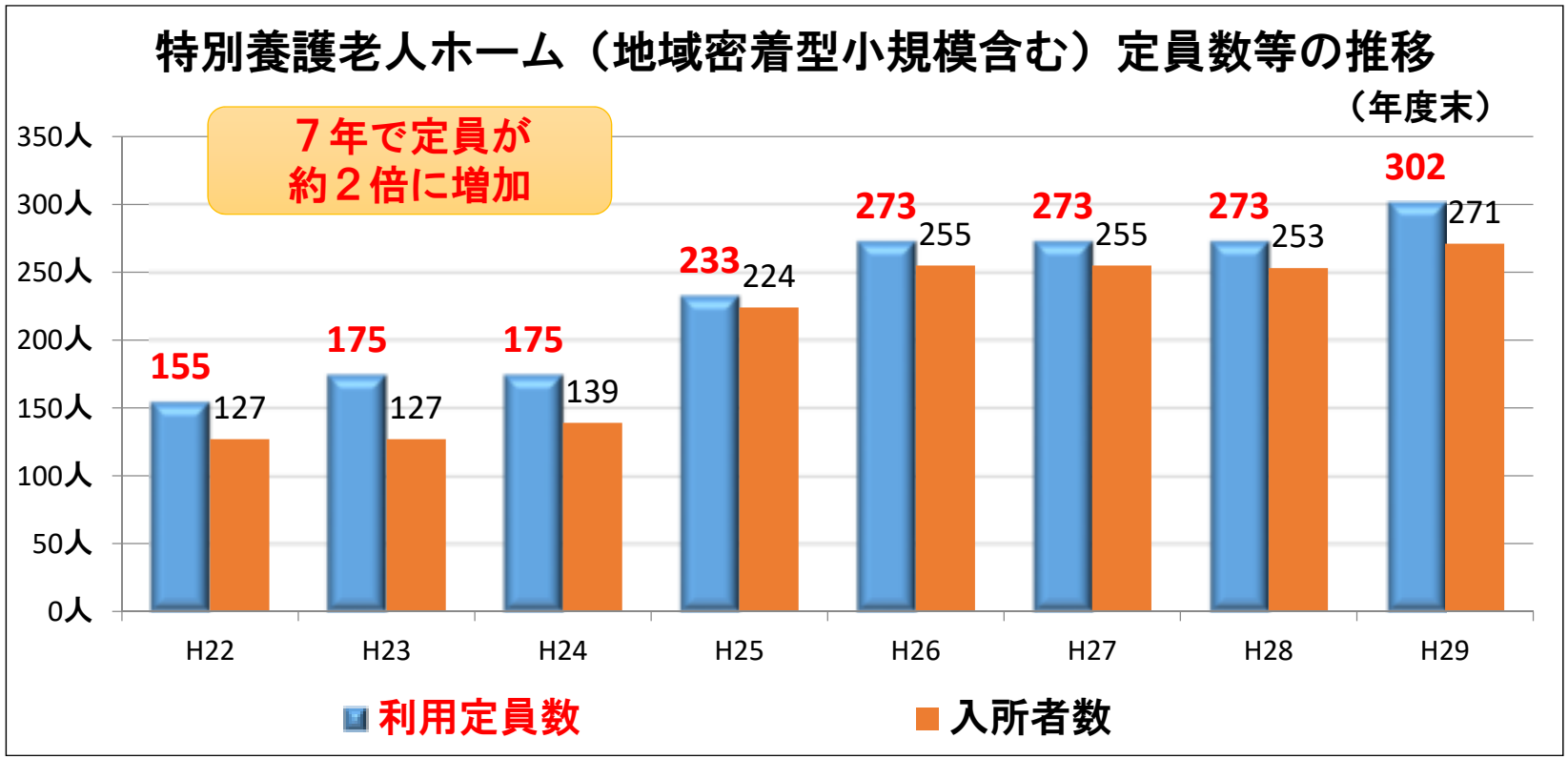
→ひらかわ健康福祉支援室（Ｈ２７～）
〔平川公民館１階〕

ながうら健康福祉支援室

高齢者施設の状況

- 特別養護老人ホーム　３施設(定員215名)
- 地域密着型小規模特別養護老人ホーム　３施設(定員 87名)
- 老人保健施設　２施設(定員190名)

今後も高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう拡充を図ります

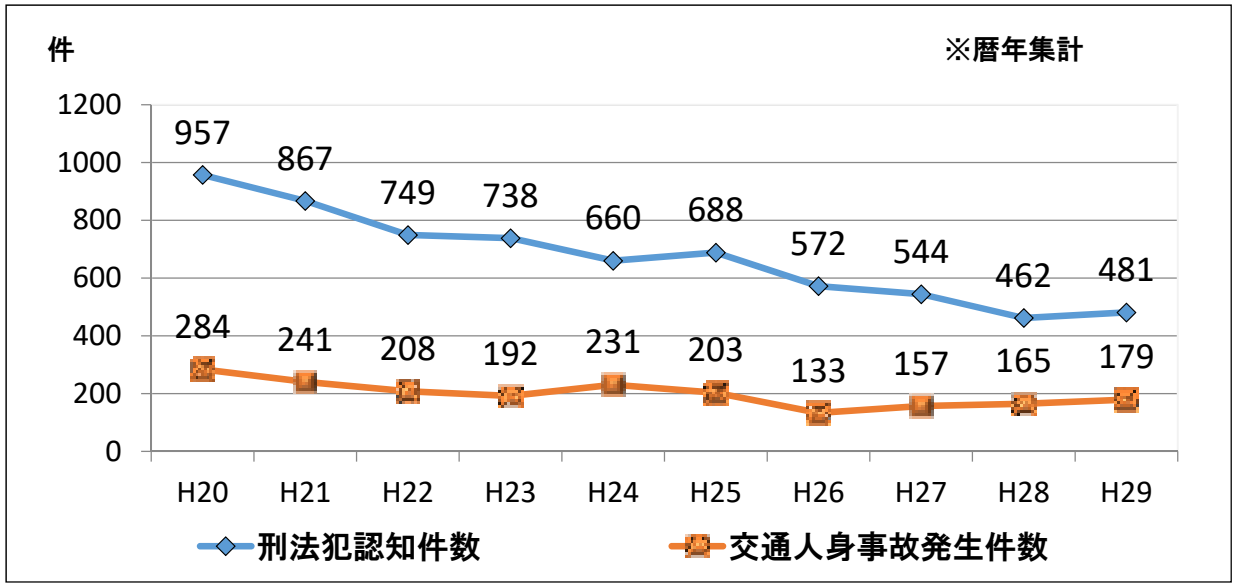


⑥安全・安心な生活環境

犯罪・交通事故の状況

- 刑法犯認知件数は１０年で半減
- 交通人身事故件数は減少後横ばい
- 平成２８年から２年連続で、
  市内での交通死亡事故は０件

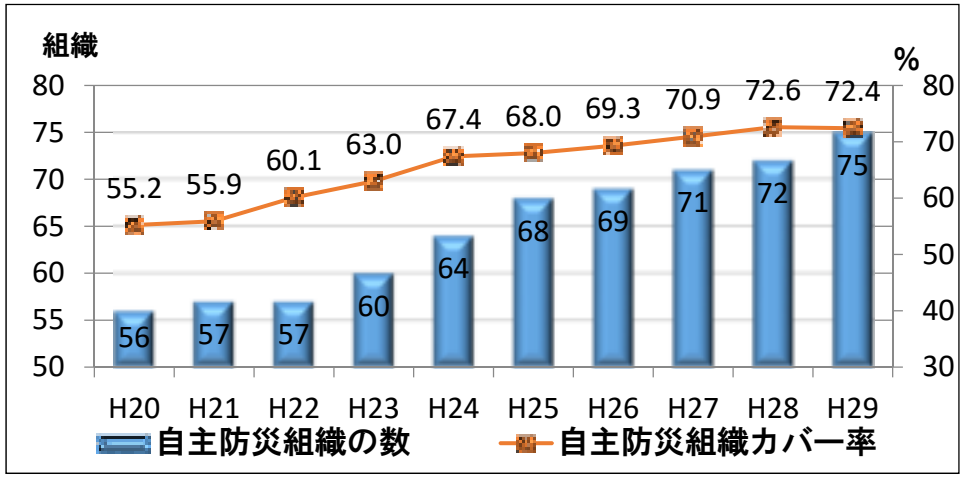
市民による子どもの見守り活動



自主防災組織の状況

区等の自治会で組織
組織数は年々増加

自主防災組織
活動のようす



災害防止と都市基盤機能向上を図る

奈良輪雨水ポンプ場の整備

東京湾との潮位差が少ない
奈良輪高須地域の浸水被害を防止
（平成２７年３月運転開始）

奈良輪雨水ポンプ場

ポンプ場能力
：７．５５立方メートル/秒
（家庭用風呂約３８杯分）

排水ポンプ

Ⅴ 市の発展を支える産業
①全国有数の工業

京葉工業地域の一翼である
臨海部を中心に、市内の企業群が、
市を全国有数の工業都市に
押し上げています

臨海部の工場

製造業売上(収入)額
１兆３，９０５億円　県内２位（全国３７位）

全産業売上(収入)額
２兆７，４９２億円　県内４位（全国６４位）

平成２６年経済センサス　基礎調査結果より

袖ケ浦椎の森工業団地

京葉工業地域と館山道姉崎袖ケ浦ＩＣに近接する
優れた交通アクセスを有する工業団地です

- 全体面積：約７４ｈａ
- 第Ⅰ期地区（分譲面積：約１８ｈａ）
  １２社が進出し、約６５０人が働いています
- 第Ⅱ期地区（分譲面積：約３２ｈａ）
  １２区画が落札され、操業に向け着工

市では企業の早期操業に
向けた取組みを推進し、
市の活性化と就業機会の
拡大を図ります

椎の森工業団地計画図

②豊かな大地が育む農業

豊かな大地と温暖な気候に恵まれ、
水稲や野菜、果物などの生産が盛んとなっています
また、県内有数の酪農地帯でもあります

農作物の状況（販売目的の野菜類の作付面積）

品目	平成２７年作付面積	県内順位
レタス	２５ヘクタール	２位
だいこん	１１９ヘクタール	５位
キャベツ	４２ヘクタール	６位
さといも	１６ヘクタール	９位

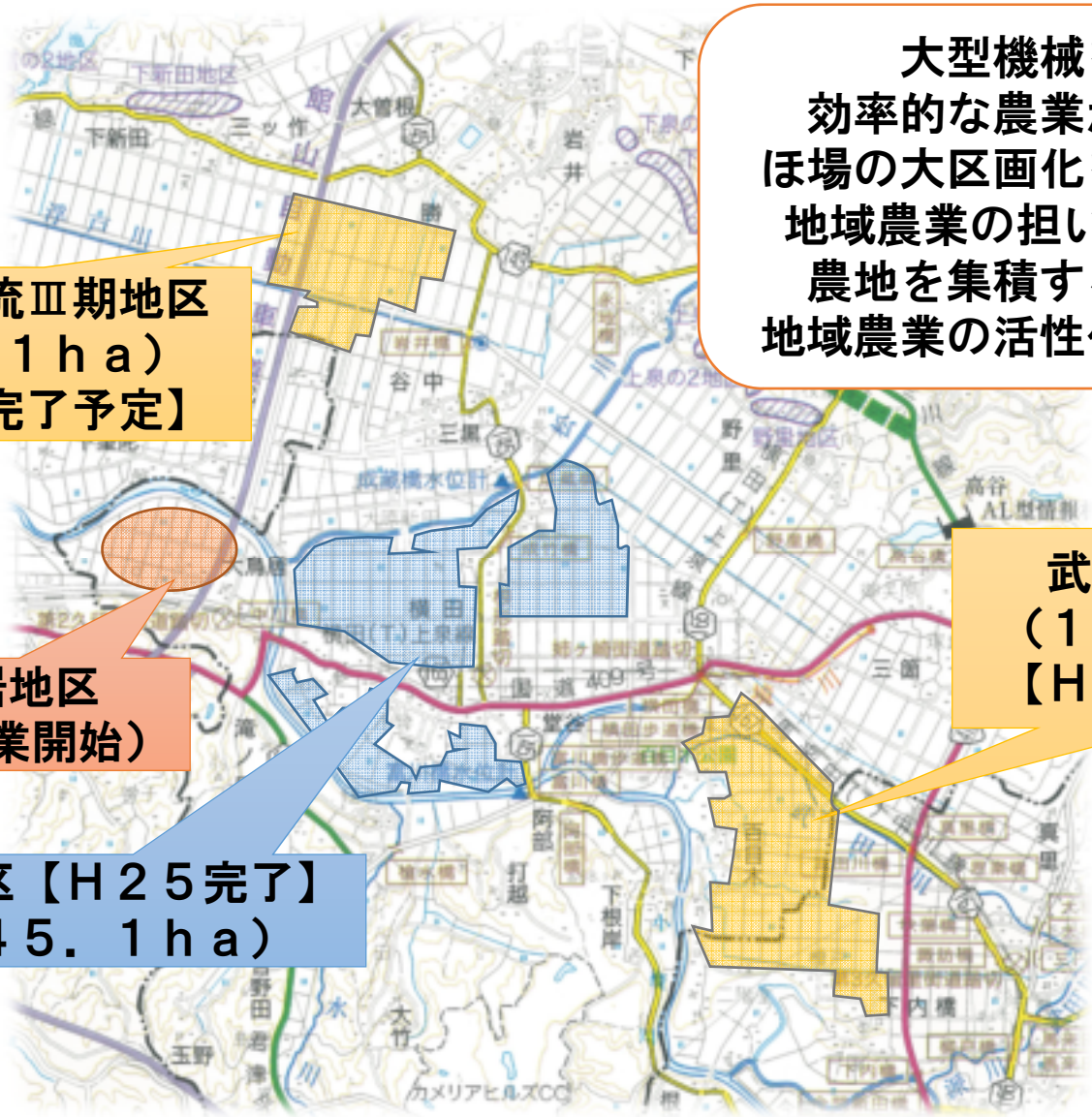
酪農・養鶏の状況（販売目的の飼養頭羽数）

区分	平成２７年飼養頭羽数	県内順位
乳用牛	１，５７２頭	７位
採卵鶏	６１９，０００羽	７位

農林業センサス２０１５より

効果的な農業経営基盤の整備（ほ場整備）

大型機械を利用した
効率的な農業ができるよう、
ほ場の大区画化を図るとともに、
地域農業の担い手（経営体）に
農地を集積することにより、
地域農業の活性化を進めています



浮戸川上流Ⅲ期地区
（５８．１ｈａ）
【Ｈ３１完了予定】

大鳥居地区
（準備作業開始）

横田地区【Ｈ２５完了】
（１４５．１ｈａ）

武田川下流地区
（１２０．７ｈａ）
【Ｈ３１完了予定】

耕地面積・農業産出額の比較

	耕地面積	田耕地面積	畑耕地面積	耕地面積率
袖ケ浦市	２，５３０ha	１，５９０ha	９４８ha	２６．７％
木更津市	２，５３０ha	１，９９０ha	５４６ha	１８．２％
君津市	３，２３０ha	２，４５０ha	７７８ha	１０．１％
富津市	２，３３０ha	１，７３０ha	６０６ha	１１．３％
市原市	５，５３０ha	３，５３０ha	１，９９０ha	１５．０％
千葉県平均				２４．４％
全国平均				１１．９％

※農業に適している土地が多いことが特徴です

農林水産省「平成２９年耕地面積調査」

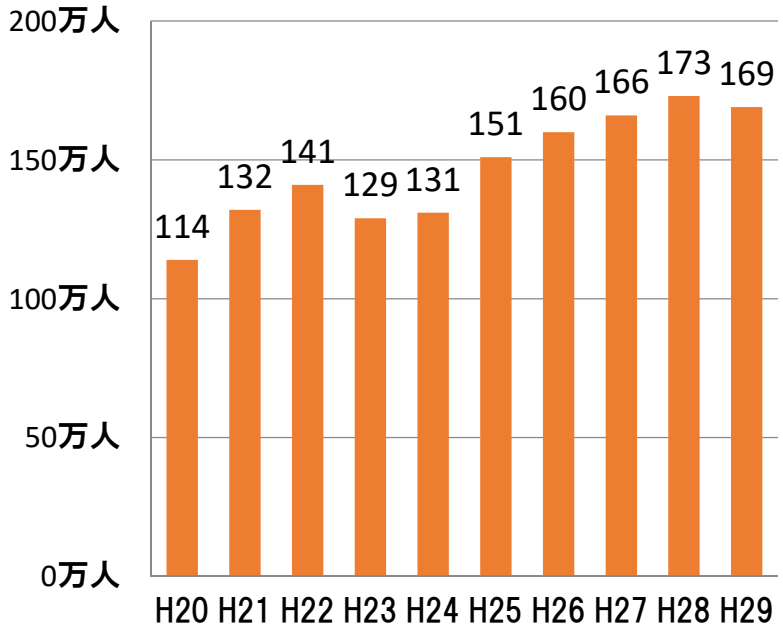
	農業産出額	耕種合計	畜産合計	農業経営体数
袖ケ浦市	８３．１億円	４４．５億円	３８．５億円	８７１経営体
木更津市	４５．６億円	２９．９億円	１５．７億円	９４９経営体
君津市	９１．５億円	３９．９億円	５１．６億円	１，５１１経営体
富津市	３７．８億円	２５．３億円	１２．５億円	９０４経営体
市原市	９８．４億円	５４．５億円	４３．９億円	２，１８１経営体

２０１５年農林業センサス

※農業経営体数に対して、農業産出額が高いことがわかります

③観光地としての魅力上昇

観光入込客数の推移



千葉県観光入込調査報告書（千葉県商工労働部観光企画課）より
※観光入込客数の対象：市内１２地点
（観光地点１０、行祭事・イベント２）
【平成２８年度上位５地点】
①東京ドイツ村（110万人）、②袖ケ浦公園（22万人）、
③百目木公園（11万人）、④東京湾カントリークラブ（9万人）
⑤袖ケ浦市郷土博物館（7万人）

市内最大の観光施設「東京ドイツ村」

とにかく広くて気持ちいい「東京ドイツ村」はドイツの田園風景をイメージした広大な芝生広場など、家族で遊べる施設がいっぱい

芝桜や味覚狩り、冬のイルミネーションも人気です

④わがまちの味覚

地元素材の特産推奨品を味わう

観光協会と商工会が特産推奨品を認定
これまで２４品が認定
お出かけのお土産にいかがですか？

特産推奨品（一部）

新鮮野菜は「ゆりの里」で

袖ケ浦公園前の農畜産物直売所「ゆりの里」
平成１９年のオープン以降３００万人以上が利用
生産者の顔が見える新鮮野菜が人気で年間売上額６億円
平成２９年度には、売場拡張・レジ増設・屋外アイス売場新設等を実施

リニューアルされた「ゆりの里」

新設のアイス売場「ミルクハウス」

⑤市内外から好評の収穫体験

体験農園で、旬の味覚を楽しむ

市内では、いちご・じゃがいも・ブルーベリー・
ぶどう・いちじく・さつまいも・落花生など、
一年を通じて収穫体験を実施
観光ツアーでも多く利用されています

日帰りバスツアーを開催

市と袖ケ浦市観光協会が主催、首都圏在住者を対象
収穫体験をメインに、市内観光と農畜産物のお買物
毎回、多くの方に参加いただき好評です

日帰りバスツアーの様子

⑥人気の公園のひみつは「花」と「絶景」

水と緑と花の「袖ケ浦公園」

６月には、５０種１５，０００株の花菖蒲
梅や桜、あじさいなど、四季を通じて花々を
楽しめるのが魅力

袖ケ浦公園　花菖蒲まつり

東京湾を一望する「袖ケ浦海浜公園」

袖ケ浦海浜公園へ向かう海浜公園通り

アクアラインや富士山をはじめ、東京湾が一望できる
展望台が人気。今年４月からは、園内の一部区域で
バーベキューも可能に（有料・要予約）
また、ワシントンヤシが並ぶ海浜公園通りは、
アメリカのカリフォルニアに似ていることから
「千葉フォルニア」や「袖フォルニア」と呼ばれ、
インスタ映えの撮影スポットとして人気上昇中！

⑦わがまちの多彩なイベント

アースモンダミンカップ【女子プロゴルフ】

カメリアヒルズカントリークラブで開催され、
１万人のギャラリーが訪れる女子プロゴルフ
優勝者への副賞として袖ケ浦市産コシヒカリ「袖ぴかり」１年分を贈呈
今年は６月２１日（木）～２４日（日）開催！

氣志團万博【音楽フェス】

袖ケ浦海浜公園で開催する氣志團主催の音楽フェス
大物アーティストの登場に、２日間で５万人の方が酔いしれます
今年は９月１５日（土）・１６日（日）開催！

ちばアクアラインマラソン

２年に１度、東京湾の上を走る唯一のマラソン
昭和地区から根形地区の沿道全体でおもてなし
２０１８大会は１０月２１日（日）開催！
今回から「袖ケ浦アンダーパス」を利用したルートに変更されます

ちばアクアラインマラソン2016の様子

市ＰＲビデオのご紹介

動画をご覧ください

第２部
わがまちの「これから」

本年度実施する事業や
さらなる発展に向けた
取組みを紹介します

わがまちの「これから」を
一緒に考えてみませんか

第７回袖ケ浦市観光協会観光写真コンクール
優秀賞「芝ザクラ」（東京ドイツ村）

Ⅰ　平成３０年度の主な取組み

取組みのポイント１

現行総合計画の総仕上げとして、特色ある子育て・教育施策や、健康寿命を延ばし、引き続き住み慣れた地域で生活できる取組みの拡充を図るなど、事業成果を市民に還元します

取組みのポイント２

協働のまちづくりの具現化に向けた取組みを推進するとともに、情報の共有に努めます

取組みのポイント３

２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、陸上競技場の改修など、市民のスポーツへの機運の醸成と、互いを認め合う共生社会の形成を図ります

平成３０年度主要事業マップ

※都市基盤整備及び
農業経営基盤整備除く

蔵波小学校
校舎増築

奈良輪小学校
校舎増築

昭和小学校
トイレ改修、
放課後児童
クラブ整備

陸上競技場
管理棟改修工事

根形小学校
放課後児童
クラブ整備

平川公民館富岡分館
多目的ホール吊天井
耐震対策工事

蔵波中学校
武道場耐震化

地区別防災訓練
（平岡地区）

平岡小学校
トイレ改修

有害鳥獣被害
防止対策（全域）

①市民参加で進める
住みやすいまちづくり

平成２９年１０月施行の「袖ケ浦市みんなが輝く協働のまちづくり条例」に基づく取組み

- 「地域まちづくり協議会」の組織化推進
- 地域コミュニティの担い手育成

- 結婚への総合的な支援を
  法人・団体との協働により
  実施

婚活イベントの支援

- 公共交通の維持・利用促進に
  向けた公共交通マップを作成・配布
- 市内路線バスの維持に向けた
  「無料お試し乗車」の実施
- 君津４市で共同整備・共同運用する「（仮称）
  木更津市火葬場」の建設（2022年度予定）に
  向けた手続きを推進
- 市役所でのパスポート発給申請受理と交付事務
  を開始（１０月）

②災害、事故、犯罪をなくす
安全性の高いまちづくり

- 地区別防災訓練の実施
  （平岡地区）
- 蔵波中学校武道場・
  平川公民館富岡分館
  多目的ホール吊天井の
  耐震対策工事実施
- 街頭防犯カメラ設置推進
- 平成通りさつき台郵便局前
  交差点改良に着手

地区別防災訓練の様子

街頭防犯カメラ

③すこやかに暮らせる
ふれあいと支えあいのまちづくり

- 産後の育児支援として「産後ケア事業」を医療機関と連携して実施
- 昭和小学校と根形小学校の敷地内に放課後児童クラブ施設を整備
- 要介護者を抱える家族の支援及び負担軽減に向けて「家族介護教室」を開催
- 認知症高齢者の徘徊防止に民間サービスを活用
- 自殺を防ぐため、心の健康を支援
- 望まない受動喫煙をなくす取組み

④豊かな人間性を育む
文化の薫るまちづくり

- 平成３１年４月に今井幼稚園を中川幼稚園と統合するための準備
- 奈良輪小学校と蔵波小学校の校舎増築工事
- 昭和小学校と平岡小学校のトイレ洋式化工事
- 教員の校務支援システムを導入し、業務を効率化
- 郷土博物館の「山野貝塚」常設展示拡充

小学校の授業風景

⑤環境負荷を減らし
自然と共生するまちづくり

- 市民や企業との協働による清掃活動及び啓発活動
- ポイ捨て防止看板の設置

ポイ捨て防止活動の様子

- 不法投棄・土砂対策は、引き続きパトロールや監視カメラの活用などによる早期発見と適切な指導を実施

里山の風景

⑥産業が調和した
賑わいと活力のあるまちづくり

- 有害鳥獣による農作物への被害を防止
  - 市独自の侵入防護柵設置補助制度の創設
  - 地区住民による駆除対策の組織づくり
- 平岡大排水路など、用排水路の整備・保全
- ６次産業化、農家レストラン、体験農園など、本市農畜産物の魅力を創出する取組みを支援
- 市内立地企業による合同会社説明会を開催
- 企業振興条例を活用した新規立地等の促進

創業相談窓口（商工会）

⑦快適で調和のとれたまちづくり

- 都市計画に関する基本的な方針
  「都市計画マスタープラン」次期プラン策定作業
- 道路網の整備

高須箕和田線
（南袖延伸）
西内河高須線
の事業推進

【県事業】
西内河根場線の事業推進

【県事業】
主要地方道
千葉鴨川線バイパス
（上泉～高谷）整備
（２０１９年度開通予定）

市道川原井林線
今年度の整備
完了を目指す

市道三箇横田線
引き続き道路改良工
事を実施します

三箇横田線の拡張

袖ケ浦駅海側地区のさらなる発展

今年の４月までに約１，２００人が居住を開始しています。

平成３０年２月撮影

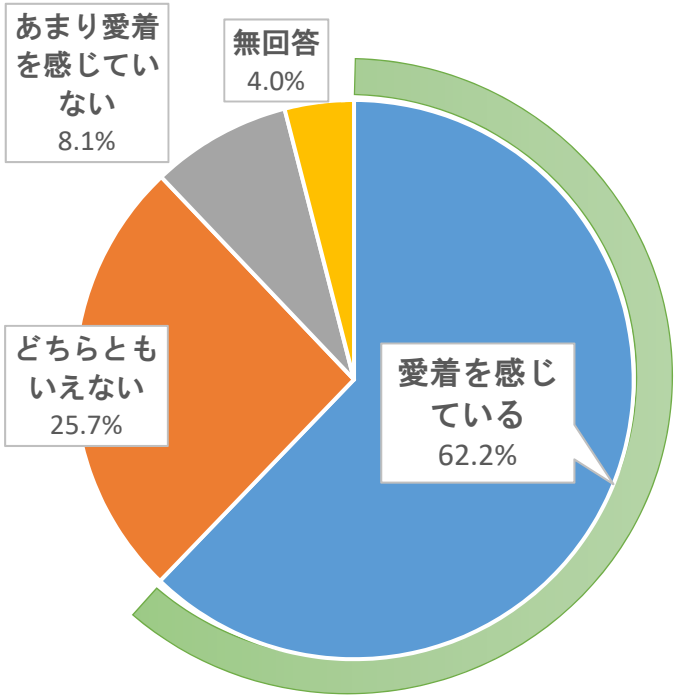
⑧市民ニーズに的確に対応する信頼される行財政運営

- 積極的なシティプロモーション活動の展開
- 経常経費の抑制に向けた取組み
- 「公共施設（建築物）の再編整備計画」に基づく施設の再編整備や有効活用の取組み
- 君津地域水道事業統合広域化（平成３１年４月）に向けた準備
- 防災拠点ともなる市庁舎の耐震化整備に向けた取組み

庁舎整備後の完成予想図

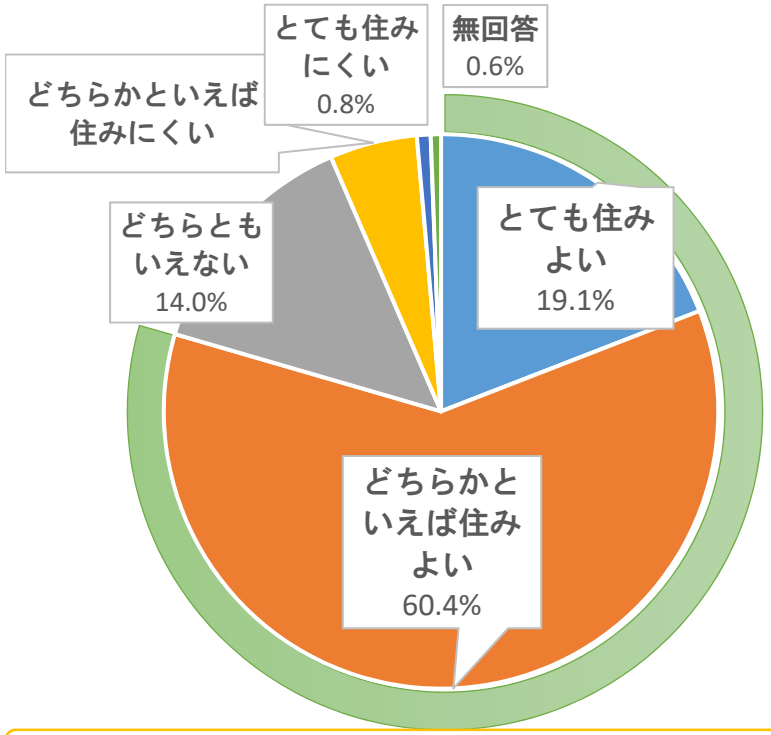
Ⅱ みんなでつくるわがまちの将来像
①市民に愛される「わがまち」

袖ケ浦市に愛着を感じていますか



６割以上の方が愛着を感じています

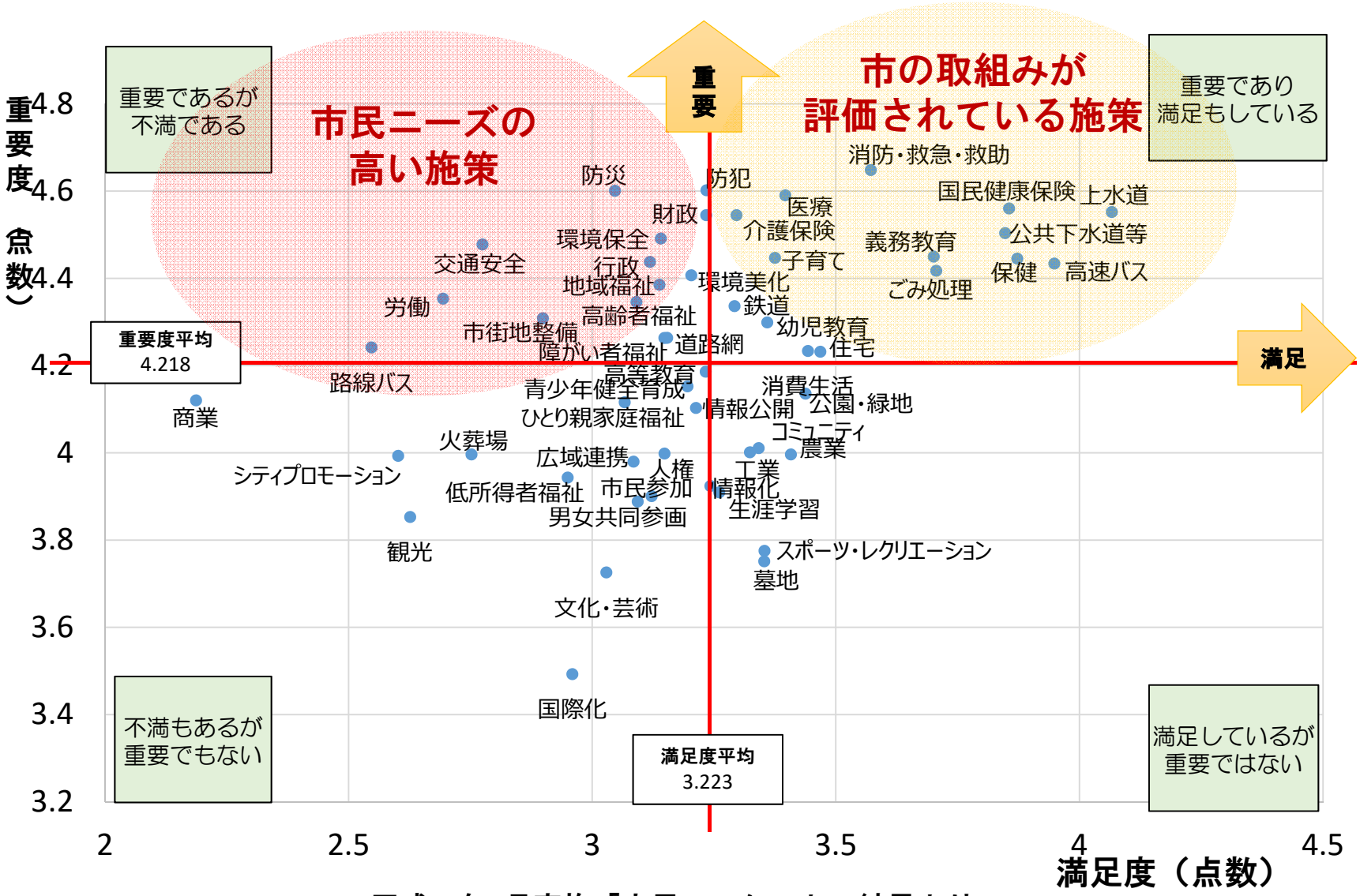
袖ケ浦市が住みよいまちだと思いますか



８割の方が住みよいまちと思っています

平成29年9月～10月実施：「袖ケ浦市まちづくりアンケート報告書」より

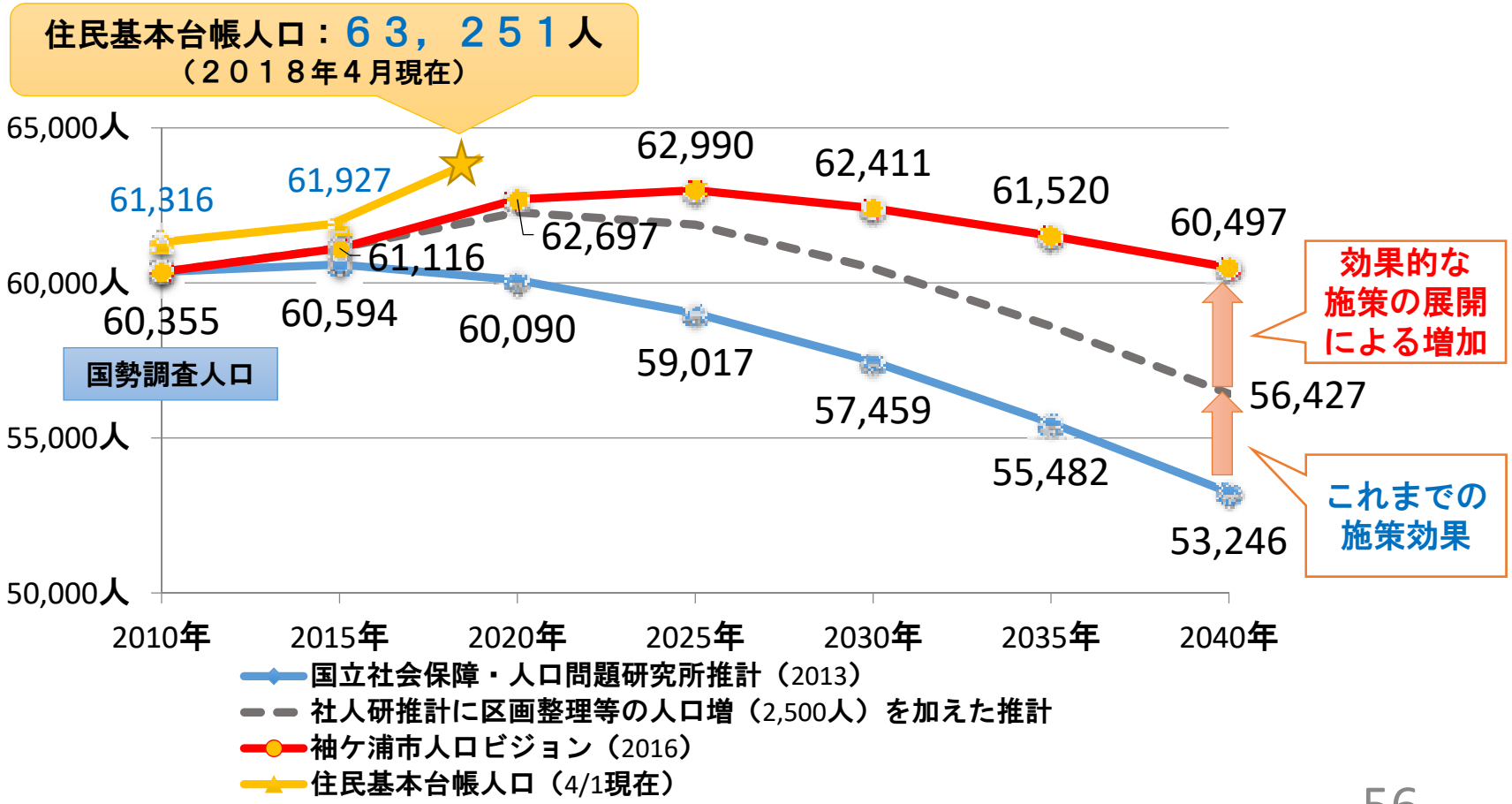
市の施策に対する満足度・重要度



平成29年9月実施「市民アンケート」結果より

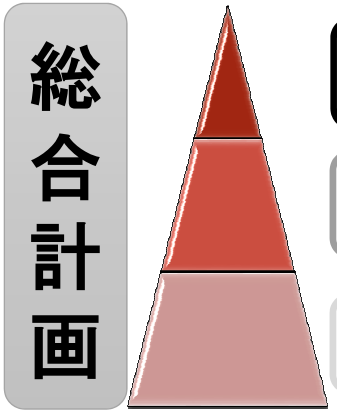
②わがまちの将来人口

- 市の人口は、袖ケ浦駅海側地区等への新たな居住により増加
- 全国的には人口減少時代の中、減少率を低下させる効果的な施策展開が重要



③これからの
まちづくり計画策定に向けて

総合計画の構成



基本構想	市のまちづくりに係る構想であって、市が目指す将来の姿を示すもの
基本計画	基本構想を実現するための基本的な計画であって、まちづくりに係る施策の方向性を体系的に明らかにするもの
実施計画	基本計画に定める施策を実現するための計画であって、個別の事業における年次ごとの取組内容を明らかにするもの

次期総合計画の策定までの流れ

	平成２９年度（2017年度）	平成３０年度（2018年度）	平成３１年度（2019年度）	2020年度
基本構想	策定方針	骨子案 → PC → 素案 → 説明会 → PC案	PC → 最終案 → 議決	次期総合計画開始
基本計画	基礎調査 市民アンケート 地区別懇談会 など	検討 → 素案 → 説明会 → 案作成	PC案 → PC → 最終案 → 議決	
実施計画		検討	案作成 → PC案 → PC → 決定	

※　PC…パブリックコメント手続　　説明会…市民説明会

④様々な手法で意見を伺っています（平成２９年度～）

地域のまちづくり懇談会

市内５地区で、地域の課題や住民ニーズを把握するために開催しました

地区の魅力と課題、地域の将来像について、グループ討議を行いました

地域のまちづくり懇談会の様子

まちづくりワークショップ

市民参加型で、関心のある分野に分かれて、グループでテーマを設定して実施しました

お互いの意見やアイデアを出し合うことで、実現に向けた方向性や取組みを話し合いました

まちづくりワークショップの様子

このほか、市民アンケートや年代別座談会を実施しました

これまでの意見から見える市の魅力と課題

市の魅力（強み）

- 地域のつながりが強い
- 災害が少ない
- 子育てがしやすい
- 教育環境が良い
- 社会教育施設が充実
- 豊かな自然環境
- 元気な高齢農家が多い
- 大企業が多い
- 公園が多い
- 地価が安い
- 財政状況が健全　　など

市の課題（弱み）

- 市内公共交通が不便
- 高齢者が外出しにくい
- 高等教育機関が少ない
- 文化、娯楽施設が少ない
- 耕作放棄地が増加
- 買物場所、商業施設不足
- 宿泊施設が少ない
- バリアフリー化が進まない
- 高齢化に伴う空き家の発生
- 特徴が少ない

など

⑤みんなで考え、みんなで築く
将来の「わがまち」

次期総合計画の策定にあたり、
今後もみなさんのご意見を伺います

（平成３０年度の予定）

８月頃：次期総合計画基本構想骨子案
パブリックコメント手続

１２月頃：基本構想（素案）及び基本計画（素案）
地区別説明会

将来の「わがまち」に向けた
みなさんのご意見をお聞かせください

ご清聴ありがとうございました

平成２９年度袖ケ浦市景観まちづくり最優秀賞「緑広がる」
（袖ケ浦公園展望台からの田園風景）

メモ